

部門	取り組み項目	2025.春時点での現状（達成状況）	今後の対応	目標達成状況(2026.3)	備考
管理部門	・看護職員の採用（適正数維持） ・看護補助者の採用（適正数維持） ・育児・介護休業法の措置を活用した短時間正規雇用者の活用 ・院内保育所の利用促進 ・福利厚生充実 【総務課人事係】 ①ベッドメイキングや移動、配薬業務補助等を組織横断的に行う人材の採用について検討する ・障害者雇用の促進・・・*障害者施設の見学 ・障害者支援学校生徒の病院実習の実施 ②病休、子育て中、介護中の職員に対する配慮 ・制度に関する説明 ・病休者への支援、職場復帰時の支援 ③事務的看護補助者の導入 【総務課総務係】 ①院内保育所（夜間・休日保育あり） 【看護部】 ①産後一ヶ月、仕事復帰前に面談 ②育児短時間制度利用者への支援 ③病休者への支援、職場復帰時の支援	・実施中 ・実施中 ・実施中 ・実施中 ・実施中 ・4月に再編成を実施 ・実施中 ・実施中 ・実施中 ・実施中 ・実施中 ・6F病棟 4回/週 午前中 ・実施中 ・実施中 ・実施中 ・実施中	・現状の継続 ・現状の継続 ・現状の継続 ・現状の継続と利用促進活動 ・現状の継続と制度活用の促進 ・年度末に検証を行う ・雇用活動の拡大 ・雇用活動の拡大 ・現状の継続 ・現状の継続 ・現状の継続 ・他部署への水平展開については今後の検討課題 ・現状の継続と利用促進活動 ・現状の継続 ・現状の継続 ・現状の継続		
診療部門	・外来当番制（各科専門外患者） ・時間予約制 ・手術開始時間の繰り上げ ・採血開始時間の繰り上げ ・クリニカルパスの活性化 ・複数主治医・チーム医療制 ・交替勤務制	・一部実施中 ・実施中 ・実施中 ・実施中 ・実施中 ・一部診療科で未実施 ・一部診療科で実施	・制度の拡大 ・現状の継続、診療科の拡大を検討 ・現状の継続 ・現状の継続 ・委員会の活発な取組 ・診療科の拡大を促進 ・診療科の拡大を促進		
薬剤部門	・病棟服薬指導 ・退院時薬剤情報管理指導料 ・病棟薬剤業務実施加算 PBPMに基づく処方入力 ・注射薬の一施用毎セット ・配薬カート作成に対する後方支援 定期処方漏れ臨時薬の調剤（配薬セットまでに交付） ・抗がん剤調製業務 ・TPN混注業務 ・外来注射（エンタイビオ）混注支援 ・患者サポートセンターでの入院前支援	・実施中 ・実施中 ・実施中 ・実施中 ・実施中 ・実施中 ・実施中 ・実施中 ・実施中	・現状の継続 ・現状の継続 ・現状の継続 ・現状の継続 ・現状の継続 ・現状の継続 ・現状の継続 ・現状の継続 ・現状の継続		
看護部門	【看護補助者との業務分担の推進】 1.看護補助者の増員を図り看護職の負担軽減を図る ①夜間せん妄患者の見守り、配下膳、食事介助、排泄に関する世話、薬剤運搬業務等の実施 ★加算関連：急性期看護補助体制加算 25対1 220点 夜間100対1急性期看護補助体制加算 105点 ②看護職員の指示のもと、患者の療養生活上の業務拡大を図る 【直接患者に対するケアを担う看護補助者の配置】 ★加算関連：看護補助体制充実加算1 急性期一般病棟 20点 地域包括ケア病棟 190点 【多職種との業務分担の推進】 *各部門の取り組み項目参照	①8F病棟 準深夜勤者 1→3名 準夜勤務者 1名 7A病棟 準深夜勤者 3名 準夜勤務者 1名 6F病棟 準深夜勤者 1→3名 準夜勤務者 1名 5F病棟 準夜勤者 0→1名 4F病棟 準夜勤者 0→1名 (4F病棟＝NICU・GCU・4B病棟) ②身体の清潔に関する世話/排泄に関する世話/食事に 関する世話/食事に関する世話/食事介助/安全安楽に関する世話	①継続中 ②継続中		

令和7年度 看護師負担軽減・処遇改善計画（No.2）

部門	取り組み項目	2025.春時点での現状（達成状況）	今後の対応	目標達成状況(2026.3)	備考
検査部門	・職員定期健康診断時の採血業務 ・健診センター（職員の入職時）の採血や身長・体重測定等検査業務 ・内科処置室での技師による採血業務 ・早朝外来採血業務	・実施中 ・実施中 ・実施中（4名しか採血していない） ・実施中。 昨年度は糖代謝科の患者が増加した。 また16時採血も開始した。	・現状の継続 ・現状の継続 ・現状の継続 ・現状の継続 今年度は、16時採血に加え、早朝採血の数を8名まで拡大する予定。		
放射線部門	・検査の際の送迎の応援 ・看護師・ナースエイドが患者さんをX線撮影室に連れてきた際の撮影待ち時間の短縮 ・造影検査時における抜針業務のタスクシェア ・ポータブル撮影時における放射線技師の2名体制	・実施中 ・実施中 ・実施中 ・実施中	・現状の維持 ・現状の維持 ・現状の維持 ・現状の維持		
医療機器管理部門	・保守管理計画に基づいた医療機器点検の実施。医療機器トラブル発生時の一時対応による負担の軽減 ・臨床業務における技術援助、情報の収集と提供 ・医療安全に対する情報収集、勉強会の参加と実施 ・離床センサーの一元管理 ・エアーマットの一元管理	・実施中 ・実施中 ・実施中 ・実施中 ・病棟で管理	・現状の継続 ・現状の継続 ・現状の継続 ・現状の継続 ・MEが管理		
栄養部門	①個々人に適切な栄養管理を行う ・入院時スクリーニング結果を基に必要な患者にGLIM基準を活用した栄養アセスメントを行い栄養管理計画書を作成する ・必要時はNSTで栄養管理をする ・栄養指導依頼箋を代行入力する（入院・外来） ・特別治療食の必要な患者の食事変更を提案し、代行入力する ・病棟や外来においてカフェラテへ参加し情報共有を図る ・外来患者において栄養指導の必要な患者をスクリーニングしへ栄養指導を行う ②治療効果と患者QOLを向上させるための満足度の高い食事を提供し、喫食率を上げる ・ミールワウンドを行い喫食状況を把握し喫食率をあげる対策をはかる ・食事形態を検討し必要時は変更を提案し代行入力する ・嚥下の状態に合わせた食事を提供する ・食物アレルギーを有する患者へ詳細問診を行う ・喫食調査を行う	・実施中 ・実施中 ・実施中 ・実施中 ・実施中 ・実施中 ・実施中 ・実施中 ・実施中 ・実施中 ・実施中 ・実施中 ・実施中	・現状の継続 ・現状の維持 ・現状の継続 ・現状の継続 ・現状の継続 ・現状の継続 ・現状の継続 ・現状の継続 ・現状の継続 ・現状の継続 ・現状の継続 ・現状の継続 ・現状の継続		
診療支援部門	①各診療科ごとの業務内容一覧を作成し、共通業務と個別業務に分類し可視化をする。 ②各チームごとに個人レベルの把握を行い、業務習得度を測る指標にする。 ③毎月の各担当チームミーティングにおいて、コミュニケーションを図るとともに、業務拡大を目指す。 ④医師説明時の第三者立ち会いの必要性を確認し、業務運用の検討を図る。 ⑤朝のミーティングで各チームの報告を行い、組織横断的に業務把握を行う。 ⑥能動的に医師へ業務移行の声掛けを行い、医師事務作業補助として本来の業務を構築する。 ⑦医師事務作業補助体制加算1.15対1の取得	・実施中 ・実施中 ・実施中 ・実施中 ・実施中 ・実施中 ・実施中	・現状の継続 ・現状の継続 ・現状の継続 ・現状の継続 ・現状の継続 ・現状の継続 ・現状の継続		
医療連携部門	①事前情報の共有（外来関係部署と朝のミーティング実施、当日紹介の事前報告） ②入退院支援体制（入院支援センター）の充実を図る ・入退院支援センター介入率の向上 ・施設入所者の臨時入院患者の問診を行い、退院支援の早期介入を行う ③地域医療連携の円滑化を図る ・地域包括ケア病棟へのレスパイト入院の受け入れ調整を行う ・地域の介護施設、行政機関と情報提供を行い、退院調整を行う ・在宅への退院移行時の文書作成の準備、代行入力（訪問看護指示書・在宅患者訪問点滴指示書等）	・実施中 ・面談介入率80%以上の維持 ・臨時入院患者に随時対応中 ・入院依頼の調整中 ・実施中 ・文書作成は文書窓口に依頼中	・現状維持 ・現状維持 ・現状維持 ・現状維持 ・現状維持 ・現状維持		
安全衛生委員会	・年次有給休暇取得の促進 ・夏休み3日間取得の促進 ・長時間労働者（80時間超）への副院長による面接（健康）指導	・昨年度は全職員取得 ・昨年度は全職員取得 ・4月から実施	・9月に取得状況通知 ・8月に取得状況通知 ・毎月実施		
リハビリテーション	・身体機能評価を踏まえた適切な病棟移動手段の提示 ・適切な介助量指導による看護師の介助負担軽減 ・患者に対して生活場面での呼吸苦軽減方法（日常生活動作の工夫）の提示 ・糖尿病教育入院時の講義（運動療法） ・【ST】嚥下評価、訓練、摂食機能療法	・身体機能評価を踏まえた適切な病棟移動手段の提示 ・適切な介助量指導による看護師の介助負担軽減 ・患者に対して生活場面での呼吸苦軽減方法（日常生活動作の工夫）の提示 ・糖尿病教育入院時の講義（運動療法） ・【ST】嚥下評価、訓練、摂食機能療法	・適時、実施 ・勉強会（移乗）実施予定 ・適時、実施 ・適時、実施 ・適時、実施		